

様式1(主な取組)

活動指標名	インターンシップ派遣者数				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	72	71	54	0	0	70	0.0%	0	未着手	新型コロナウイルスの影響により、高校生を団体で県外へ派遣することが困難なことから、令和2年度をもって事業を終了した。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度の取組改善案						反映状況				
<p>・「インターンシップ拡大強化事業」については、県内求人倍率の改善や、近年の県内企業の人手不足を背景として令和3年度をもって終了予定だったが、新型コロナウイルスの影響により事業の実施が困難なことから前倒しで事業を終了した。しかし県内高校生の就職内定率は全国並には至っておらず、また進路決定率は当初の目標値を達成出来ていないことから、新たな取り組みとして県内企業に焦点をあてる事業の展開を検討していきたい。</p>						<p>・県内高校生の就職内定率の改善を図るため、県内企業を対象とした合同企業説明会を開催した。</p>				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

- ・ 高校生の進路決定の早期化に向けては、教育庁においてインターンシップ事業や低学年次向けの就職ガイダンス等が実施されている。
- ・ 県内の一部業種において人手不足が顕在化していることや今後の少子高齢化の進展を踏まえ、商工労働部においては学生の県内就職を促進させる取り組みを強化する必要がある。

○外部環境の変化

- ・ 新型コロナウイルスの影響により、県内企業の求人数は一部業種を除いて感染拡大前の水準には回復していない。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・ 新型コロナウイルスの影響により、県内企業の求人数は感染拡大前の水準には回復していないが、新型コロナウイルスの収束後を見据えて、引き続き県内企業の人材確保が必要であり、新規学卒者が業界や企業を知る機会の充実や若年者にとって魅力ある職場づくりを促進する必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

- ・ 新型コロナウイルスの影響により、依然として県内高校生の就職内定率は全国並には至っていないことから、引き続き、学校でのキャリア形成セミナーや企業説明会の実施により、就業意識の向上や県内産業の理解促進を図り、県内就職を促進させる取り組みを強化し、就職内定率の改善を図る。